

## 別紙

### 株式会社ユーシン広島工場温室効果ガス削減計画

#### 1 事業の概要

##### (1) 事業所の名称

株式会社ユーシン広島工場

##### (2) 事業所の所在地

広島県呉市天応大浜四丁目1番1号

##### (3) 業種

その他の電気機械器具製造業

##### (4) 事業所位置図

別紙のとおり

#### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成27年度を基準年度とし、平成29年度から平成32年度までの4年間とする。

#### 3 計画の基本的な方向

当社は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の1つであることを認識し、自動車用電子・電装・機構部品の開発・設計から製造・販売に至る当社内の事業活動の中で、環境への負荷低減に取り組みます。

1. 国際規格 ISO14001 に基づき、環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善を図ると共に環境汚染の予防に努めます。
2. 環境に関する法規制及びその他の協定を遵守いたします。
3. 環境目的・目標を設定し、全社で取り組むと共に定期的に見直し致します。
4. 環境に配慮した製品の開発・設計及び生産活動の中で、特に次の項目について重点的に取り組みます。
  - (1) 天然資源の枯渇を防ぐための省エネ、省資源化
  - (2) 生産設備等の管理徹底による汚染の予防
  - (3) 廃棄物・排出物の削減

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度 平成27年度	直近年度 平成29年度
二酸化炭素	9,714	9,078

##### 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度 平成27年度	直近年度 平成29年度
二酸化炭素	0	0

##### 【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度 平成27年度	直近年度 平成29年度
メタン	0	0
一酸化二窒素	0	0
その他 温室効果 ガス ( HFC PFC SF <sub>6</sub> NF <sub>3</sub> )	2868	2868

## 5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成27年度)	削減目標		目標年度 (平成32年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	9,714	4.9	476	9,238
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	0	0	0	0
メタン	0	0	0	0
一酸化二窒素	0	0	0	0
SF6 温室効果ガス	2,868	0	0	2,868
温室効果ガス 実排出量総計	0	0	0	0
温室効果ガス みなし排出量	0	0	0	0
目標設定の考え方	エネルギー起源のCO <sub>2</sub> は排出量年1.0%の削減率 電機は中国電力(株)の実排出係数を仕様 SF6ガスは当社の生産工程的にH32年度での削減は不可能			

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100      削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)							
目標設定の考え方	エネルギー消費原単位として原単位ベース1%の削減率						

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100      原単位 (c) = (a) / (b)      原単位見込 (g) = (e) / (f)

## 6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気の使用量を1%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2回/年 節電連絡書を発行し省エネの教宣。</li> <li>・ 毎月、工場の巡回。省エネ活動状況の監視、改善活動の実施。</li> <li>・ 水銀灯、蛍光灯のLED化</li> <li>・ 各フロアに温湿度計を設置による空調機の温度設定管理</li> </ul>

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

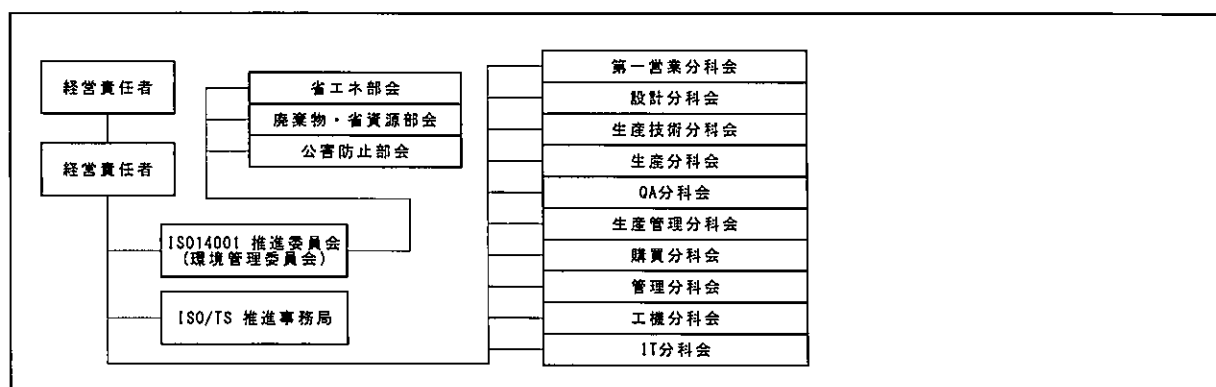
### ○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制



### (2) 実施状況の点検・評価

省エネ部会、廃棄物・省資源部会を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取り組み状況の把握・点検見直し等を行い、継続的な工場を図る。

(3) 計画書等の公表

・当社ではCSR報告書の公開を計画しています。準備が整い次第、計画内容、及び進捗状況を掲載します。